

2023年度 認定こども園せんだの森学校評価

令和6年 3月24日

■ 園の概要

2007年2月11日完成、全国初の保育室が2階にある木造新園舎です。
1階には0・1・2歳児クラスの保育室と広々とした吹き抜けの遊戯室、給食室があります。2階には3・4・5歳児クラスの保育室と子育て支援スペースがあります。
2016年より千田保育所は認定こども園せんだの森になりました。
園舎の西側には、乳幼児が裸足であそべる芝生スペースや砂場があり、様々な感触を楽しみながら過ごせます。また、窓の外を覗けば、田んぼが見え、稲の観察をしながら季節を感じることができます。
子どもたちの季節の製作が飾られた0・1・2歳児クラスの保育室には、床と畳のスペースがあり、落ち着いた環境の中過ごせるようになっています。
春には桜の木が満開に咲き、子どもたちの成長を見守ってくれています。また、季節に応じて野菜や花などの植物を子どもたちと一緒に育てています。子どもたちの大好きな遊具も沢山あり、いつも子どもたちのにぎやかな声が響き渡っています。

■ 本園における園評価のねらい

新制度移行に伴い、幼児組・乳児組が一体となって連携を図り試行錯誤しながら園行事・園運営につとめてきたがまだまだ「一体感」という意味では十分とは言えず、全てにおいて手探り状態で1年間が終了致しました。新しい制度で2年目を迎えた28年度はより一層の充実や発展を計り、外部の皆様の感想を求め、意見を出して頂く機会を設けたく、園評価を実施する事にした。

学校評価

当園では2009年度より教職員のスキルアップを目的とした自己評価を行っている。
実施したことにより、普段の保育に対して改めて自らを振り返ることができました。
また、学校関係者評価を行うため評価委員会を設置し、教職員の自己評価報告書をもとに協議を行いました。その後、保護者会役員を対象とした「学校関係者アンケート」も実施致しました。
アンケート結果を教職員全体で話し合うことにより、成果や課題などがみえたので、次年度の環境整備、資質向上に努めていきたいと思えます。

自己評価R5年8月1日実施

| 教職員が評価シートをもとに、自らを振り返りながら自己評価を行った。

■ 社会福祉法人の理念

<ひとつの理念>

愛のあるところに生命がある。
ひとりひとりが尊ばれ、一緒に育つ環境を目指し、
福祉の原点を忘れない活動を行う。

■ 福祉の基本方針

<活動の虹方針>

わたしたちは
笑顔で子どもたちをむかえます。
成長と安全を家庭と見守ります。
個性を尊重して平等に接します。
生きる力が育つ環境を創ります。
円滑な就学に向け連携をします。
親子が共に育つ支援を考えます。
持てる力で地域に貢献をします。

■教育・保育目標

認定こども園せんだの森では、多様化する社会を生きていくための「生きる力の基礎」づくりの場とし、一人ひとりに寄り添った保育を行なう中で、知力・体力、そしてやさしい心を育てていきたいと考えています。しなやかで逆境に負けない「生きる力」があってこそ、その先に伸びる可能性があると思います。

<星のような保育・教育の目標>生きる力の基礎

こども園は長い人生の最初の時間を過ごす場所ですが、一生を通じて最も成長する時期でもあります。人を思いやる心、失敗を恐れず最後までやり抜く意欲、工夫できることから、そんな豊かな人生を送るために必要な「生きる力の基礎」を培います。遊びや生活経験を通して、いろんな5つの目標が星のように相互に影響を与えながら、生きる楽しさ 学ぶ楽しさを感じて大きくなります。

<合言葉=愛ことば>

子どもたちには、輝く未来と希望がもてるように、家庭や地域には、子育てが楽しいものであると感じられるように！

せんだの森の愛ことば <子どもの笑顔をたやさないように>

<育ちの星☆目標>

- 希望を持って元気に生きる子ども
愛し愛されて育つ
夢をもち明るく生きる
みんなと力をあわせて楽しく過ごす
- 自分からできる、前向きな子ども
時間をみて自分からする
身の回りのことができる
できることによるこびを感じる
- しなやかなで、たくましい子ども
よく遊び よく食べ よく休む
身の安全を守れる
柔軟に取り組み 最後までやり抜く
- 何事も興味を示す、考える子ども
人の心や物の仕組みを知り 豊かに表現できる
はなしを聞き 自分の考えを伝える
自然や社会とともに生きる
- 素直な心をもつ、やさしい子ども
よいと思うことを 勇気をもってする
ありがとう ごめんなさいが素直に言える
まちを愛し ひとを思いやれる

■具体的目標・計画

保育の特色

認定こども園せんだの森を大家族と考え、子どもたちがより安心し、家庭的な雰囲気の中で過ごしているような環境となるように日々心がけています。また、地域の方とのふれあいを多くもち、地域に密着した認定こども園せんだの森でありたいと思っています。たくさんの方との関わりの中で元気にあいさつができる子どもたちに育てています。

自然の多く残る千田町で、地域の方との菜園活動やたくさんの方の自然の散歩道の中で、四季を感じながら大きくなっています。

① 教育課程・指導

・年間指導計画、週案、月案、日案などの作成 などでの職員間の連携 ・ ・週案や月案などを作成することより、一日の保育の流れなどを明確にする事が出来る。 担任の先生に代わり部屋に入ってくれる職員に対して申し送りなどを行い、その日の保育が運営できるように努めている。

② 保健管理について

・乳幼児に対する日常の健康観察 ・環境検査の実施感染症対策 ・感染症対策（手指消毒、除菌） ・園児の登園時や、保育室では常に目を配り、日常と変わりがないか観察。 ・毎年 薬剤師による水質検査・空気検査・飲料水・水飲み検査を行っている。

③食育活動の促進について

0・1・2歳児は主に、様々な野菜や果物に触れ、食べ物の味・色・形・匂いなど五感を使った経験ができるようになっています。3・4・5歳児は、様々な調理器具を使い、料理をする楽しさや、みんなで作って食べる喜びを感じながら行なっています。年間12ヶ月、入園から卒園までのべ72ヶ月の計画に基づいて行っています。調理だけではなく、衛生や伝統文化、マナーも学んでいます。

④菜園・稲作活動について

認定こども園せんだの森周辺にある菜園で、地域の方と一緒に季節の野菜を育てています。主に3・4・5歳児を中心にして活動を行ない、大きくなった野菜を収穫してみんなでクッキングをしたり、給食のメニューで美味しく頂いたりしています。5歳児は、6月に田植えを行ない、10月に稲刈りの経験もします。

⑤書道指導について

月2回専門の講師として福山市内を中心に活躍されている玉葉会の中村文美先生他2名の先生に来ていただき、書道指導を受けています。日本の伝統文化に触れること、心を落ち着かせ人の話を聞く力を養うこと、物を大切に扱うことを目的とし取り組んでいます。道具の扱い方と姿勢に始まり、筆の持ち方やひらがなの書き順などを教えてもらいます。社会福祉法人昌和福祉会の題字を始め、保育所や子育て支援センターの題字も中村文美先生に作成をお願いしました。保育所には法人の理念である「愛は生命である」の言葉の他、「ひとりはおみんなのために みんなはひとりのために」の揮毫もあります。

⑥ 安全管理について

・防災用品の購入 ・登降園時の送迎車や自転車の誘導 ・電子錠による施錠 ・災害時に向け、備蓄品を収納する防災倉庫、ワイヤレスアンプを購入。 ・定期的な AED の電池残量確認。 ・普段から、登降園時の送迎車や自転車の駐車・駐輪を促し安全管理に努めている。

<防災・災害に関すること>

- 町内会との防災協定（せんにしの丘と横尾町内会 避難所の提供と物資の保管・訓練）
- 避難所の提供（せんだの森 平成30年7月豪雨）（3施設）
- 大規模災害時に法人全体を通じて募金活動の推進（東日本大震災 フィリピン国タクロバン市（福山市友好都市）の台風災害 広島市土砂災害 平成30年7月豪雨 等）

○避難防犯安全指導について

毎月2回の避難防犯安全指導を行ない、火災や地震・不審者などを想定した避難訓練を実施しています。火災が起きたという避難ベルが鳴った時、子どもたちはどのようなことに気をつけながら避難するべきなのか、また、私たち職員が子どもを守る為にどのような判断を行ない、行動をとらなければいけないのか反省・改善を繰り返しながら行なっています。

⑦ 組織運営について

・教職員への勤務要綱マニュアルの周知（年度当初） ・教職員への情報の取り扱い方針の周知（年度当初）
・年度当初に教職員で勤務要綱マニュアルの読み合わせを行った。それと同時に個人情報の 取り扱い方や、守秘義務についても周知した。

⑧ 研修（資質向上の取組）

・資質向上のため全教員が園外研修へ参加。 園内研修も月1回は全職員が2グループに分かれて行っています。
・各保育士、園外研修への参加は積極的に行っているが、園内研修に関しては月1回は全職員が参加し、2グループに分かれて行っています。全職員が同じ意識を持っていけるよう質を高めていきたいと思う。

⑨ 情報提供

・園だよりやクラスだよりなどを通して、保護者に情報を提供 ・HP を通して園内の情報を提供。
・園だよりに記載してある、予定表により行事などを周知して頂いている。 ・HP の新着情報により、園の最新情報を提供。
・セコムの配信メールを実施(2019年6月末より)

⑩ 保護者・地域住民との連携

<地域貢献>

社会福祉法人昌和福祉会では、社会福祉法人としての公益性を考え、地域社会に必要とされる社会貢献活動を行っています。今後も利用者支援や地域連携につながる活動を継続していきます。

千田学区の行事に子どもが参加することにより、保護者も一緒に参加し、地域の行事を知る機会になっている。千田学区まちづくり推進委員の一員として活動している。

<ボランティアや交流活動>

- 大型商業施設（フジグラン神辺店）で、毎月1回のおでかけ子育て相談会の実施
- 中高生の学生保育体験や社会福祉協議会のヤングボランティアの受け入れ

<地域活動への参画>

- 千田小学校・千田学区の地域清掃活動に参加
- 千田・御幸学区主催行事に参加（3施設）
（学区盆踊り大会 学区スポーツ祭 敬老会 文化祭 三世代交流 とんど祭り など）

○地域交流について

5歳児くま組が月1度、地域の施設である「せんだの里」に伺い、おじいちゃんおばあちゃんとの交流を楽しむ計画をしていたが、今年度も交流は難しくできなかった。

⑪ 地域子育て支援 センター

開所日：週5日（月～金）土・日もあり（不定期）

開所時間：9:00～14:00

利用組数：毎回8組～10組

内容：簡単クッキング、趣味講座、給食体験、ベビーマッサージ講座 他お弁当持参もある。

- ・就労の有無に関わらず、教育標準認定（1号認定）の方は、幼稚園型一時預かり保育を19:00まで行っている。
- ・地域の親子が自由に参加し、ふれあいの場、遊びの場、学びの場、情報発信の場をつくり交流を深めながら家庭への子育てを支援します。
- ・園の毎月の季節行事にも積極的に参加し、園児との交流もしている。
- ・家庭（個々）への子育てを支援しています。
- ・フジグランやゆめタウンでのおでかけ保育を月1回行っている。

⑫ 預かり保育

保護者の方のお仕事や病気、急な出来事で、ご家庭で保育ができない場合、一時的にお子様をお預かりして保育しています。

- ・就労の有無に関わらず、教育標準認定（1号認定）の方は、幼稚園型一時預かり保育を19:00まで行っている。

⑬ 教育環境整備点検について

- ・遊具などに危険箇所がないか、定期的に点検を行っている。
- ・園庭や園舎など、危険箇所がないか定期的に点検を行っている。
- ・修繕箇所を発見した際は、園長まで直ちに報告。その後、必要とあれば業者を呼び早急に対応する。
※今年度は空調・換気・照明設備換装工事を実施。

■教育目標の達成、学年の年間目標に対する評価

教育目標

～生きる力の基礎を培う教育・保育～

- 希望を持って元気に生きる子ども…
- 自分からできる、前向きな子ども…
- しなやかで、たくましい子ども…
- 何事にも興味を示す、考える子ども…
- 素直な心をもつやさしい子ども…

- ・幼児は朝のマラソンやラジオ体操・鉄棒を継続的に行うことにより、子ども達の体力が向上している。乳児は

ハイハイや伝い歩きなど、今後の身体運動の基礎となる動きが多いので、十分に楽しんで行えるように配慮したいと思う。

- ・家庭的保育かつ 集団生活における教育の中で 一人一人がいきいきとした 生活を送る
新入園児の保育認定の子ども達に対し、体力面を考慮し慣れるまでは、ゆったりとした時間や休息できる場所を設けた。2 学期になると体力もつき、園生活にも慣れ活動の時間を増やすことが出来た。子ども一人ひとりの思いや気持ちに気付き受け止め、その都度 1 対 1 で関わる事で無理なく生活を送ることが出来た。家族との連携を大切にしながら、充実感や満足感を味わえるような保育を行えた。
- ・心身共に健康で明るくいいきいきと ・がまん強く、最後まで頑張りのきく逞しい子ども ・優しく素直で、思いやりのある子ども ・自分からあいさつができる子ども・素直にごめんなさいと言える子ども 基本的な生活リズムを繰り返し、たくさん話しかけることで、経験や体験を繰り返し、場面に応じた挨拶や返事が出来るようになった。子どもたちの思いや気持ちに寄り添い理解して行く事で、情緒 が安定し心の優しい子になると思う。子どもの内面を理解しながら保育を行っていきたい。

■2023 年度の… 達成状況・評価・反省 学年の年間目標

めだか組(0 歳児)

- ・保健的で安全な環境を整え、健康状態の観察を丁寧に行ない、病気や異常は早期発見して対応し元気よく過ごす。
- ・愛情豊かな保育者の受容により、信頼関係の基礎を培う。
- ・一人ひとりの生活リズムを大切に、生理的欲求を満たして生命の保持と情緒の安定を図る。
- ・様々な物に好奇心や関心をもち自分の思いを表現する。
個々でできることの差があったため、最初の数か月は子どもそれぞれにあったあそびや関わりを心掛けた。年度末に近づくにつれて、高月齢の子どもはあそびや生活習慣、言葉において自分でやってみたいという自己主張が強くなり、保育者の真似などを楽しむ姿も見られるようになった。自分もやってみたい！の気持ちを伸ばしていけるよう、自分でやりたい気持ちを大切に、必要があれば援助をしていき、できる喜びを感じられるようにしていきたい。保育者は子ども一人ひとりの思いを受け止め、子どもの表情や仕草をよく観察した上で声かけや対応を行うことで、子どもたちが毎日安心して楽しく過ごせることを大切にしてきた。

ひよこ組(1 歳児)

- ・安心できる保育者のそばで簡単な身の回りのことを自分でしてみようとする気持ちが芽生える。
- ・一人ひとりの欲求や自我の芽生えを大切にしながら欲求を受け止め自分の気持ちを安心して表すことができるようになる。
- ・ひとりあそびを楽しみながら保育者や友だちに自分の思いを出し、関わって遊ぶ楽しさを味わう。
基本的な生活習慣については、興味をもって取り組む姿が見られたが、どの子も個々のペースで一年かけて身につけることができている。玩具の取り合いもあったが、友だちとかかわりを持ちながら遊ぶ姿も見られるようになってきた。また、トラブルも見られるが保育者が仲立ちすることで解決することができている。簡単なルールを知り、やり取りをしながら遊ぶことで、言葉でのやり取りもできるようになってきている。

こあら組(2 歳児)

- ・一人ひとりが安定して生活を送る中で、自分の思いを表現し、十分に自己発揮していく。
- ・保育者との関わりの中で、自分でできることが増え、生活に必要な身の回りのことを自分でしようとする。
- ・友だちとの関わりを楽しみ、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。
身の回りの簡単なことを自分でしてみようとする姿が多く見られ、できた！という達成感を味わうことができた。成功体験を増やすことで自信ができ色々なことに挑戦することができている。片付けの際に、同じ音楽を流すことで、音楽を聴いて行動に変えることができるようになってきた。また、友だちとの関わりが増え、トラブルも見られたが、保育者が仲立ちをし、お互いの主張を聞き、相手の気持ちを伝えることで気持ちに折り合いが付けられる場面も増えてきた。

うさぎ組(3 歳児)

- ・基本的な生活習慣のリズムが確かなるようになり、身の回りことを自分でできるようにする。
- ・友だちや保育者との関わりを深め、様々なことに挑戦しようとする。
- ・自分の欲求や感じたことを自分なりの方法で表現する。
- ・あそびや生活を通し、約束やきまりがあることを知る。
3 歳児クラスへと進級し、集団での活動が多くなったが、保育者の指示を聞いて動いたり友だちと一緒に協力しようとしたりする姿が見られた。友だちとの関わりでは特定の友だちと遊ぶことが増え、誘い合って遊ぶ姿が見られるようになった。それに合わせてトラブルも増えたが、お互いの話を聞くことでそれぞれの思いを伝えあえるよう仲立ちした。できるようになったことが増え、チャレンジしてみようとする積極的な姿もあり達成できたことで喜びにつながり自信となった。

りす組(4歳児)

- ・安全な環境を作り、一人ひとりの子どもの欲求を十分に満たし安心して園生活が送れるようにする。
- ・信頼感を深め、仲間と共に感情豊かな表現をする。
- ・友だちと関わりあいながら、一緒に遊んだり生活したりすることを楽しむ。
一人ひとりの情緒面の安定を大切しながら保育を進めていく中で、友だちとの関わりも深まり、相手の気持ちに気づきながら遊びを広げていくことができるようになった。運動会や発表会などを通して目標に向かって頑張ろうとする気持ち、やり遂げられた達成感を味わうこともできた。

くま組(5歳児)

- ・友だちと一緒に園生活を十分に楽しみ、意欲的に遊びや生活に取り組む。
- ・主体的に行動する力を身に着け、充実感ある日々を過ごす。
- ・生活に必要な習慣や態度を身につけ、その意味を理解して行動できるようになる。
- ・友だちと協力しながら、自分たちで活動を進める楽しさや充実感を味わう。
- ・自信を持ち何事にも意欲的に取り組む。
どの活動を行う際にも「まずはやってみよう」とあきらめずにチャレンジする気持ちを大切に過ごしていった。はじめは初めてのことに戸惑いもあったが、経験を重ねることでどの活動にも意欲がみられるようになり、意欲を自身につなげることもできた。発表会では保護者の前で舞台上に立ち、どの演目も自信を持ってやり切った。大きな舞台を成功させる達成感も感じることができた。

■園務分掌から

評価 A…達成された B…おおむね達成された C…要改善

○行事 (B)

- ・運動会は空調・換気・照明設備換装工事のため土曜日にじっしできなかつたため小学校の協力をもらいながら3歳～5歳は金曜日に実施した。各家庭2名の参加で大変喜ばれた。2歳児こあら組は通常保育の中で実施した。通常に近い運動会を開催することができ、時間的にも無理なくすすめることができた。ゆったりと観客場所よりゆったり見ていただくことができました。駐車場の混雑はなかった。(A)
- ・秋祭りは空調・換気・照明設備換装工事のため12月に子ども祭りとして実施した。児童一人に保護者1人の参加で安全に楽しくこども祭りが実施できた。混雑もなくゆったり楽しむことができた。(A)
- ・発表会は4歳5歳は通常に近い入れ替え制で行った。年齢別の発達も見ていただくことができ保護者からも喜ばれた。2歳と3歳はコロナの観察期間であったのでクラス別で行った。
- ・卒園式は保護者2名の参加で実施することができた。何よりも一人一人へのコメント入り証書がせんだの森オリジナルで感動もできた。子どもたちのシュプレーヒコールも親への感謝の気持ちがつたえられることができとてもよかった。何よりも全員出席の卒園式になり思い出深い卒園式になった。(A)

○食育 (A)

- ・食育の年間指導計画にそって、月1回の食育指導で、その月の目標にあわせて子どもたちに指導している。
- ・衛生面に配慮しながら、毎月1回クラスごとに実施している。
- ・クッキング場面はクラス前に写真を掲示し、様子を伝えている。保護者からはとても喜ばれている。

○誕生日会 (A)

- ・今年度は全体で開催できることができた。全児童でたのしい雰囲気の中でお祝いすることができた。
- ・毎月ごとの担当を決め、計画的に取り組んでいる。
- ・子どもたちの年に1度の特別な一日を、大切にしながら取り組めた。
- ・職員で練習も重ね誕生児を全職員でお祝いすることができた。
※来年度は誕生児の保護者の方も参加できるよう計画していきたいと思ひます。

○学校避難防犯安全指導 (A)

- ・毎月の訓練を実施することで避難実施訓練は上手に避難ができていひる。また、津波や浸水を想定した避難訓練も実施し、実際に2階に避難実施した。いろいろな想定やいろいろな場面での避難訓練を出来る限り行っていく。
- ・いざという時に職員が的確に避難誘導ができるように、職員の役割の意識が大切である。リーダーの職員がいなくても判断し誘導ができるよう、毎回見直ししながら職員間で反省し、意識統一をしていく。

○学校安全指導・安全点検 (A)

- ・月1回の安全点検を、各クラスで行っている。子どもたちの安全を第一に考え、危険な個所に気づける意識が大切である。いつ壊れたのかわからないということも多いため、職員一人ひとりの意識を高めていく。
- ・安全指導は、遊具の使い方や園庭で遊ぶ時のルールなどを職員間で確認し、だれでも同じように指導できるようにすることが必要である。

○水遊び・夏季プール (B)

- ・プールの際は必ず監視が付く状態で実施した。
- ・プールでの約束を知らせ、守りながら事故なく楽しく過ごすことができた。
- ・年々暑さが厳しくなっているので、熱中症に気を付け、安全を第一に考えてプールの回数を変え、実施するかどうかの判断を行うことも必要。
- ・気温や水温で急遽プールが中止になることも多々あったので、保護者のプール参観は残念ながら中止とした。

○菜園活動 (A)

- ・千田農園で千田学区のおじいちゃんたちと一緒に体験・経験し、苗植えにはじまり収穫を楽しんでいる。
- ・玉ネギやじゃがいも、さつまいもなど、季節ごとに自分たちで収穫し、それを給食で味わうと言う経験が、子どもたちの食事への意欲につながっている。
- ・野菜嫌いの子も自分で栽培した野菜なので食べられた。今後も積極的に探して参加を増やしたい。

○園外研修 (A)

- ・キャリアアップ研修(フレーベルのオンデマンド研修)を実施した。全職員を対象に様々な分野の研修を案内し、それぞれが、興味のある研修にすすんで参加するよう啓発していくことで、より多く内容を選んで研修に取り組むことができた。学んだ内容を園内で共有し、自身が実践することで共有したりすることを大切にしている。できるだけ全職員が研修に参加できるように計画していった。

○懇談会・面談 (A)

- ・保育参加日・参観日に各クラス懇談会を開催した。小グループで話し合うことで話も盛り上がった。子育ての悩みや成長の姿を共有し、楽しい懇談の場でもと喜ばれた。
- ・年間の中で取り組んでいくことが必要。

○職員のコミュニケーション (B)

- ・月1回の会議や毎日の昼礼の際、各クラスの個の取り組みや保護者の状況、怪我などのインシデント事例などを報告し合い、情報共有をしている。
- ・週案を一覧に記入することで、他のクラスの保育内容を知り、園庭や保育室の使い方をクラス同士で調整するようになっている。
- ・自分のクラスだけでなく全体のことを考えていけるよう、他のクラスへの気配りを大切にしていきたい。

○保育内容 (B)

- ・各年齢クラスで、子どもの姿や季節にあわせて、計画的に様々な活動を計画し楽しんでいる。部屋や園庭も保育計画に合わせてクラス同士で話し合い調整するようになっている。
- ・3歳以上のクラスは、行事への取り組みに多くの時間を要している状況があるが、担当を分担しながら取り組んでいる。
- ・どの年齢クラスも、子どもが主体的に遊びに取り組める環境を大切にしたい保育をすすめていけるよう工夫している。そのためにも、園内研修をより深めていく必要がある。

○職員会議など (A)

- ・月に1回の所内研修は、リーダーが出席するような形になっているが、可能な限り短時間でもいろんな職員が参加するようにし、園内のことにみんなが共通意識をもっていけるようにしていく。クラス会議も実施している。
- ・勤務形態が多様で、常に保育があるため、全員が集まることは難しいが、必要に応じて、パート会・臨時会議を設定し、時間を分けて全員が参加できるようにするなど、これからも工夫しながら職員の意識統一を図っていく。
- ・代表者の出席なので、会議の内容を伝達することで、職員間での共有ができるよう、伝達方法を見直していく。
- ・会議に出た先生が、重要なことなどを学年の先生に申し送りをする。

○施設・整備 (A)

- ・今年度は2023年9月23日～11月18日の期間
※土・日を使って空調・換気・照明設備換装工事を実施した。

○園内研修 (B)

- ・一斉での研修は難しいが、月に同内容で2回研修を行うことで、より多くの参加者が対象の研修をもつようになっている。
- ・園外研修に行くことも限られているため、園に講師を招いたり、研修で受けたことを園内で研修するなどの方法で、園内研修を設定していく。それでも、参加できる職員は一部になるため、職員一人ひとりの学習意欲を高め、質の向上につなげていった。

以上

全教職員への周知・園内掲示・HP上への公開を行うものとする

■学校評価について

学校関係者評価2023年3月24日

(学校関係者評価報告)

ICTによる学校評価アンケートR6年3月14日-3月24日実施

学校関係者委員会の協議の結果をふまえ、アンケート用紙を作成し全保護者を対象にアンケートを実施した。

配布数：3月現在家庭数111世帯 回答数：122世帯

○アンケート 結果より

2023年度は空調・換気・照明設備換装工事をし、運動会やこども祭りの開催日が変更になったが保護者の方の理解や協力によって開催することができた。クラス別の保育参観は児童一人につき1人の保護者で参観をしていただき、ゆったり参観を実施することができた。特に子ども祭りについては安全にできたと思う。

気づき提案について

- ・保育参加もありがたいが、保育参観もして頂けると、普段の様子が分かるのでありがたい。
- ・自分のことがしっかり言葉で伝えられるようになるまでは、昼寝をしたかしてないか、便をしたかしてないかを一言連絡帳で知らせてくれるとありがたい。
- ・発表会や秋祭りなどコロナ前まで兄弟や祖父母が参加できていたので、また参加できるようになってほしい
- ・子どもの発達状況を親に伝える際に、少し配慮が必要ではないかと感じることがあった。伝え方や伝える場所においてもお迎えの時に言うことではないと思いました。
- ・連絡帳に毎日の昼食の食事量を書いてくださると助かります。
- ・参観日については、難しいとは思いますが、出来るだけ普段の子どもの様子が見れる参観だとありがたいです。
- ・できれば給食後の歯磨きを再開してほしいです。
- ・子どもが園の給食をよく食べるので、親も給食を食べてみたいです。
- ・園の門について、鍵を閉めている間に子供が走り出したりしたら危ない。手を繋ぐにしても、子供が複数の場合は難しく、オートロックだと便利だと思う。
- ・保護者同士の話の場があれば嬉しいです。
- ・保護者同士の交流の場を設けて欲しい。

て

行事について

- ・祖父母参観も復活してほしい。
- ・行事参加きょうだいも含めて参加したい。
- ・保育参加や参観もありがたいが普段の様子などみれる機会がほしい。

安全面について

- ・園の門について、鍵を閉めている間に子供が走り出したりしたら危ない。手を繋ぐにしても、子供が複数の場合は難しく、オートロックだと便利だと思う。

保護者に教育保育目標や方針を提示する機会をつくる必要があると感じた。貴重なご意見を参照しながら保育の質の向上に努めていきたいと思う。広く今後の活動に生かしていきたい。

	項目	評価										回答数
		A	A 回答 率	B	B 回答 率	C	C 回答 率	D	D 回答 率	E	E 回答 率	
1	子どもたちは、園生活を楽しいと感じて通園している。	107	84.9	16	12.7	1	0.8	1	0.8	1	0.8	126
2	子どもたちは、園で十分に遊んだり、運動したりしている。	110	89.4	11	8.9	1	0.8	1	0.8	3	2.4	123
3	子どもたちは、園や先生、友だちの話をしている。(人間関係が築けている)	111	88.8	12	9.6	2	1.6	0	0.0	9	7.2	125
4	子どもたちは、給食やおやつをおいしく食べている。	110	91.7	10	8.3	0	0.0	0	0.0	6	5.0	120
5	子どもたちは、あそびと休息などでリズムある生活ができています。	111	88.8	12	9.6	2	1.6	0	0.0	1	0.8	125
6	子どもたちは、身辺自立に向けた行動ができる。	91	76.5	27	22.7	1	0.8	0	0.0	7	5.9	119
7	職員は、明るく接し、ふさわしい言葉遣いや電話対応ができています。	104	82.5	21	16.7	1	0.8	0	0.0	0	0.0	126
8	職員は、保護者との信頼関係ができ、コミュニケーションがとれている。	97	77.0	27	21.4	2	1.6	0	0.0	0	0.0	126
9	職員は、人権を大切に、子どもをよく理解し、誠実に対応している。	105	84.0	20	16.0	0	0.0	0	0.0	1	0.8	125
10	職員は、教育・保育の指導方法や内容に工夫している。	108	89.3	13	10.7	0	0.0	0	0.0	5	4.1	121
11	職員は、園での子どもの様子や連絡事項を適切に伝えている。	101	80.2	22	17.5	3	2.4	0	0.0	0	0.0	126
12	園は、自然や社会とかかわりをもてるような体験を取り入れている。	106	87.6	14	11.6	1	0.8	0	0.0	5	4.1	121
13	園は、年齢の異なる園児がふれあえるような機会をもっている。	106	87.6	15	12.4	0	0.0	0	0.0	2	1.7	121
14	園は、保護者の子育てについての必要な面談や支援を行っている。	100	80.6	21	16.9	3	2.4	0	0.0	2	1.6	124
15	園は、地震・火災・不審者から子どもが守られるように努力している。	102	87.2	15	12.8	0	0.0	0	0.0	9	7.7	117
16	園は、施設の安全点検、衛生管理を行っている。	103	87.3	14	11.9	1	0.8	0	0.0	7	5.9	118
17	園は、延長保育を適切に行っている。	95	96.0	4	4.0	0	0.0	0	0.0	26	26.3	99
18	園は、だよりやセコムメール等で情報を分かりやすく伝えている。	107	87.0	16	13.0	0	0.0	0	0.0	2	1.6	123
19	園は、保育 ICT など情報共有の利便性の向上を図っている。	107	87.7	13	10.7	2	1.6	0	0.0	4	3.3	122
20	園は、保育参観や懇談を通じて、園の状況や家庭での育ちを共有している。	101	81.5	22	17.7	1	0.8	0	0.0	2	1.6	124
21	園の、全般的な行事の回数や時期・内容は適当である。	96	82.1	21	17.9	0	0.0	0	0.0	8	6.8	117
22	園の、運動会の時期・内容は適当である。	101	91.8	9	8.2	0	0.0	0	0.0	16	14.5	110
23	園の、生活発表会の時期・内容は適当である。	97	86.6	14	12.5	1	0.9	0	0.0	14	12.5	112
24	園の、参観日や懇談の時期・回数・内容は適当である。	99	82.5	18	15.0	3	2.5	0	0.0	6	5.0	120
25	園の、秋祭りの時期・内容は適当である。	101	86.3	15	12.8	1	0.9	0	0.0	9	7.7	117
26	保護者会は、役員の負担は適当である。	42	93.3	3	6.7	0	0.0	0	0.0	35	77.8	45
	平均(Q1~24)	104.7	89.5	16.2	13.5	1.0	0.8	0.1	0.1	7.2	8.2	122.1

感想	<ul style="list-style-type: none"> ・今年1年ありがとうございました。お疲れ様でした。 ・いつも子供達や私たちのことを気に掛けて下さってお話してくださったり、お帳面書いて下さり本当に良くして貰ってます。 感謝しかありません。あと1年でこども園とお別れするのがさみしいくらいです。あと1年親子共々よろしく願いいたします。 ・子ども楽しく園生活を送っており、親も安心しています。 ・園長先生と現場の先生方との連携が、きちんととれているなあと感じます。クラスで起こったことを、園長先生も把握されてるので、信頼できる場所の一つです。 ・どのクラスも余裕をもって職員の人数配置なので、安心できます。いつもありがとうございます。 ・嫌な顔せず子供のことを見てもらい、色々学ばせてもらい感謝しています。 ・いつも園での出来事を楽しそうに話してくれます。 ・入園時はなかなか慣れずに心配しましたが、先生方の温かい関わりのおかげで今では楽しく通うことができていると思います。また、いいことばかりではなく気になることも教えてくださりアドバイスしてくれるのでとても助かっています。これからもたくさんご迷惑をおかけすると思いますが、来年度もよろしくお願い致します。 ・今まで沢山お世話になりありがとうございました。 ・先生方がいつも明るく挨拶等して下さり気持ちよく通わせてられています。が、ひとりの先生が、いつも暗く挨拶をしてくれないのが残念です。 ・いつもありがとうございます。 ・担任の先生以外の先生も名前を覚えていて声をかけてくださり、みなさんで見守ってくださっているなど感じています。いつもありがとうございます。 ・いつも暖かい保育をありがとうございます。先生方には感謝してもきれないほど助けていただいています。 ・昨年もっていた一年の大まかな計画も今年分見れたらいいなと思います。 ・毎日ありがたい限りで、特に改善して欲しいところはありません ひよこ組の保護者です。ひよこ組の先生だけでなく、いろんな先生方が子どもに携わって下さって保護者にも声をかけていただけます。不安なことも聞きやすくて一緒に成長を見守ってくださるので信頼しています。いつもありがとうございます。
気付き 提案	<ul style="list-style-type: none"> ・保育参加もありがたいが、保育参観もして頂けると、普段の様子が分かるのでありがたい。 ・自分のことが しっかり言葉で伝えられるようになるまでは、昼寝をしたかしてないか、便をしたかしてないかを一言 連絡帳で知らせてくれるとありがたい。 ・発表会や秋祭りなどコロナ前まで兄弟や祖父母が参加できていたので、また参加できるようになってほしい ・子どもの発達状況を親に伝える際に、少し配慮が必要ではないかと感じる事があった。伝え方や伝える場所においてもお迎えの時に言うことではないと思いました。 ・連絡帳に毎日の昼食の食事量を書いてくださると助かります。 ・参観日については、難しいとは思いますが、出来るだけ普段の子どもの様子が見れる参観だとありがたいです。 ・できれば給食後の歯磨きを再開してほしいです。 ・子どもが園の給食をよく食べるので、親も給食を食べてみたいです。 ・園の門について、鍵を閉めている間に子供が走り出したら危ない。手を繋ぐにしても、子供が複数の場合は難しく、オートロックだと便利だと思う。 ・保護者同士の話の場があれば嬉しいです。 ・保護者同士の交流の場を設けて欲しい。 ・発表会ですが、きらきら星やトルコ行進曲は、みんな頑張っていました。子供達より先生の方が目立ってましたし、ミスもピアノの方が気になりますので、子供ファーストで企画してあげたほうが、子供達の経験にもなりますし、ビデオに撮っても映しがいがあると今年も思いました。